

第113回 信州安曇野の自然と美術館巡り活動報告書

平成29年7月30日

総務幹事：武 田

- 1、実施日 2017年7月27日（木）～28日（金） 天候 曇り
- 2、参加者 28名 男性15名、女性13名
- 3、宿泊先 お宿なごみ野（安曇野穂高温泉郷）
（新宿西口出発から帰着まで2日間の行程のすべてをホテル送迎バスを利用）

4、コース

【27日】新宿出発8:30 ⇒中央道 石川PA ⇒ハケ岳PA（瀧村氏乗車）⇒
昼食 おっとこ亭 ⇒諏訪南IC ⇒安曇野IC ⇒大王わさび農場 散策 ⇒
碓山美術館 ⇒安曇野天蚕センター ⇒『お宿なごみ野』16:30着
入浴・休憩 16:30夕食懇親会 21:00有志二次会（幹事部屋）11:00散会

【28日】7:30朝食 9:30お宿なごみ野 ⇒木崎湖・中綱湖・青木湖（車窓）⇒
白馬五竜スキー場 ⇒ Gondola「白馬五竜テレキャビン」⇒白馬五竜高山
植物園・散策 ⇒昼食 アンシャンテ ⇒白馬三枝美術館 ⇒道の駅松川 ⇒
安曇野IC ⇒ハケ岳PA（瀧村氏下車）⇒石川PA ⇒新宿西口着
20:30 解散

5、記事

- 両日とも天候は曇りで、旅館滞在中に雨もあったが行動中はあま雨に遭わずの幸運であった。
- 最初に訪れた「大王わさび農場」は15ヘクタールの広さで、谷合の水田に水勾配のある畝を作り、畝にわさびを植えてすべての畝間に常に水流ができるよう水路が作られ、夏はその上に寒冷紗で日よけがかけられるようになって居り、谷あい木漏れ日の沢にあるわさび田の趣はなく、まさにまさに世界一のわさび農場であった。
- ハケ岳をはじめ中央道の間々、安曇野・白馬からの北アルプスの連山は望めなかったが、白馬五竜高山植物園ではガスの合間で八方尾根スキー場方面の残雪を見ることが出来た。
- 高山植物園は冬は4メートルの雪のゲレンデの下になる5ヘクタールの広さ、散策時はアヤマ、やや時期を過ぎたニッコウキスゲ、ピンクや白のコマクサの群生も楽しめた。
- 美術館2館は小規模ではあるがそれぞれ特色のある展示品で、安曇野・白馬の歴史や文化の深みを感じることが出来た。
- 今回のたかお会活動の参加者は28名（初参加2名）と多く、たかお会及びIDNの活動のPRを期し、帰路のバスではたかお会とIDNの今夏の活動、それぞれのホームページの案内と、四谷パソコン教室の講座内容などの説明を行った。 以上